

木材を世界一薄くスライスする技術の高度化や商品開発を進める

課題

高度化や開発には資金調達が必要

木材を約0.1mmの薄さでスライスできる技術をもつ株式会社ビッグウィル。世界一でありオンリーワンの技術として特許を取得している。この技術から生まれた木材シートは、柔軟性があり、割れにくい。不燃性とホルムアルデヒド不発散性を兼ね備えた画期的な商品だ。おもに国内の商業施設、オフィス、店舗、住宅の壁紙として販路を拡大し、雑貨商品としても展開。近年は海外への展開も視野に入れている。

同社では、製品を壁紙として使用するため、さらなる高度化を図るとともに、雑貨商品の開発や販路も開拓したいと考えていた。それには設備投資、研究開発費のための資金調達が必要だ。また、経営者の長男を後継者として育成する必要も出てきた。さらに、壁紙をほかの素材と組み合わせた商品開発やデザイン性のある商品開発、壁紙の不燃化、海外展開するための木のシートの開発、生産性の向上などの課題があり、そのためにも設備投資が必要だった。

支援

専門家派遣やものづくり補助金で支援

同社は、ベンチャー企業としてスタートしているため、資金調達が大きな課題である。東みよし町商工会は製品の高度化を図るための資金調達、雑貨商品の開発、販路開拓などについて継続して支援を実施してきた。

技術的な課題解決は徳島県立工業技術センターを活用しながら支援を実施。商品開発については、専門家派遣を実施して製品の高度化を図った。雑貨商品の開発、販路開拓についても、専門家派遣により試作品を製作。その試作品を商工会が実施する見本市に出品して評価を確かめ、商品開発を進めていった。

一方、後継者の育成は、後継者に商工会が実施するアイデア創出勉強会に参加してもらい、経営、商品開発、販路開拓のスキルを身につけてもらった。

その後、製品の高度化のための試作品の開発、設備、市場調査に、6次産業化の総合事業計画の申請を支援し、認定を受けた。雑貨商品のデザイン性の課題、異素材との組み合わせの試作には、新商品開発補助金の申請支援を行った。採択後、大手広告代理店などを活用して商品を開発し、それにと



新たな設備を導入し、幅広いサイズにも対応できるようになった

もなう新たな課題解決のために公的機関を活用した。

さらに続く支援では、壁紙の不燃化については、公的機関などの支援を受けながら解決を図るとともに、製品化の生産性を上げるためにオリジナルの設備を導入した。

さらなる壁紙の高度化も支援。それまでは幅が600mmまでしか対応できなかったが、市場が求める幅は900mmで、対応するためには設備の改良が必要だ。また海外へ展開するための木のシートの開発には、工業技術センターの技術支援とともに設備の導入が不可欠だった。これらの課題を解決するために、ものづくり補助金の申請を支援、採択を受けた。

支援の経過

期間	支援内容
H21年7月	経営革新計画の申請支援
H22年6月～	雑貨の商品開発・販売支援、後継者育成支援
H24年8月	6次産業化・総合事業計画の申請支援
H25年6月～	新商品開発補助金の申請支援 ものづくり補助金の申請支援

会社概要

会社名：株式会社 ビッグウィル
住所：徳島県三好郡東みよし町屋間20-1
電話番号：0883-79-3300
URL：http://www.bigwill.co.jp/
代表者名：代表取締役 近藤清美
創業年：平成19年
年間売上高：2億円（平成31年）
従業員数：23名
商工会名・担当者名：東みよし町商工会・塩田計英